

# インターネット上で頻発する「さらし行為」について

「さらし行為」とは、本人の許可なく、インターネット上で他者の個人情報を公開することを指します。SNSや匿名掲示板などで「さらし行為」は頻繁に発生しており、中には子どもたちが標的となるケースもあります。

## なぜ「さらし行為」は起きるのか？

「さらし行為」を行う原因として多いのが、人間関係のトラブルです。実生活やオンラインゲーム上などでのめんどごとをきっかけとして、トラブルになった相手に嫌がらせをすることを目的に、名前や学校名、住所、顔写真、SNSのアカウントなどの個人情報を掲載するのです。

また、トラブルになった相手の裸や下着姿の写真・動画を掲載しているものもあります。



××学校××部2年 ○○×男  
××県××市××町××××



不適切な投稿がきっかけとなるケースもあります。公共の場で迷惑行為をしているものや、未成年者が飲酒・喫煙をしているもの、いじめが疑われるものなどの不適切な投稿をすると、それを見た人たちが、悪いことをしたからこらしめてやろうという正義感で、投稿者の個人情報をさらすのです。

## ポイント

インターネット上に個人情報を載せられると、それを見た多くの人から情報を保存される可能性があります。そのため、元の投稿を削除することができても、他のサイトに情報を載せられて、インターネット上に半永久的に個人情報が残り続けることとなります。



## 注意

### 「さらし行為」は違法です！

インターネット上での「さらし行為」は、名誉棄損罪、プライバシー侵害、肖像権侵害など、複数の法律に抵触する可能性があり、罪に問われたり、対象の人物から訴えられたりすることがあります。「さらし行為」をする人の中には、「悪いことをした相手だったら、個人情報をさらしてもいい」と考えている人もいますが、どんな人が対象であっても、「さらし行為」をすると罪に問われることがあります。また、誰かがインターネット上にさらした他者の個人情報を拡散しても、同様に罪に問われる可能性があるため注意が必要です。



インターネット上での「さらし行為」が違法なものであることを子どもたちに理解させ、たとえ冗談のつもりでも、他者の個人情報はインターネット上に掲載しない、またインターネット上にさらされた他者の個人情報を拡散しないよう、指導してください。また、「さらし行為」の被害にあわないために、不適切な内容の投稿をしないことはもちろん、インターネット上に自分の個人情報を載せないよう、指導していくことも必要です。